

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24056	
事業名	都心エリアマネジメント推進費						
評価担当課	所属名	政)政策企画部 都心まちづくり					
	課長名	岩田 朋道	担当者名	佐藤 広太	電話番号	011-211-2692	
施策名	主	活力があふれ世界を引きつける都心					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	エリアの特性に応じたマネジメントを促進するとともに、「イノベーションが創出されるまちづくり」の実現に向け、都心の活力創造や課題解決を推進する				
		長期	都心全体におけるエリアマネジメントの推進により、都心の魅力・価値を高め、札幌の持続的・発展的成長をけん引していく				
	取組内容	札幌をけん引する都心の発展を支えるため、地区・街区ごとのエリアマネジメントを推進する。また、都心における地区まちづくり推進制度や、都心まちづくりプラットフォームによる都心の活力創造に資するプロジェクトなど、エリアマネジメントを強化する取組を実施。①駅前通地区・大通地区・すすきの地区・創成東地区の活性化支援②「都心における地区まちづくり推進制度」による地区まちづくりルールの策定支援③都心まちづくりプラットフォームの構築等に向けた取組み					
	実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・創成東地区において東4丁目通歩道デザインやまちづくり体制・ビジョン骨子案を検討。 ・南1条地区のまちづくりにかかる地域での地区まちづくりルールの検討を支援。 ・都心まちづくりプラットフォーム事業ではオープンスペースの新たな活用検討実証実験を3件実施。 					
事業実施における工夫点	民間事業者や地域の関係者と密に情報共有等を図り、官民連携で事業を推進している。						
対象者	市民及び民間事業者等			開始	平成23年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	全国でエリアマネジメントの動きが活性化しているとともに、まちづくり会社等エリマネを推進する新たな組織が設立され、各種事業を展開している。また国交省ではウォークアブルなまちづくりを推進しており、プラットフォーム事業と同一の方向性の政策形成が進められている						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	3,811	15,000	8,833	41,000	
うち特定財源	700	3,000	1,900	2,000	
人工	5.0	5.0	0.0	5.0	
人件費	36,000	36,000	0	36,000	
計(事業費+人件費)	39,811	51,000	8,833	77,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	(1)創成東地区まちづくり推進支援業務(委託料):1,905千円 (2)エリアマネジメント補助金:750千円 (3)都心まちづくりプラットフォーム事業:3,399千円 (4)その他(時間外勤務、旅費など):2,779千円			
	令和4年度予算	(1)創成東地区におけるまちづくり体制・ビジョンの検討に係る委託費:4,000千円 (2)新幹線札幌駅東改札口周辺地区におけるまちづくりの方向性検討に係る委託費:5,000千円 (3)エリアマネジメント補助金:2,700千円 (4)都心まちづくりプラットフォーム事業:5,525千円 (5)居心地が良く歩きたくなる都心まちづくりに向けた現況調査に係る委託費:21,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	エリアマネジメントによるプロジェクトへの支援件数(単年度)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2	3	6	6	
活動指標2	指標名	プラットフォームで実施されるプロジェクトの数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	-	3	3	4	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	駅前通地区、大通地区では、両まちづくり会社と連携し、地区の活性化に向けた検討・取組を実施したほか、創成東地区では東4丁目通歩道デザインやまちづくり体制・ビジョン骨子案の検討を実施。 プラットフォーム事業においては、公共空間の新たな活用を検討するための実証実験を行った。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	都心各地区のエリアマネジメントは、まちづくり会社による継続的かつ恒常的なまちづくり活動や、地域関係者で構成される協議会等による活性化、安全安心に向けた活動等、それぞれの地区の特性や状況に応じた、きめ細やかな支援を行う必要があり、事業規模は適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各地区の事業にあたっては、地域関係者と協働で実施している。各地区のまちづくり活動が本格化、多様化していく中で、地域と行政との役割分担を明確にし、効果的・効率的に事業を実施している。第2次都心まちづくり計画の実現に資するエリアマネジメントによるプロジェクト支援事業補助事業は、ガイドライン策定や地区計画提案に向けたまちづくり検討、地域価値の向上を目指した社会実験などを支援するため公益上必要であり、補助金交付により第2次都心まちづくり計画の目標の実現、都心の魅力・価値向上に資する効果がある。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	各地区のエリアマネジメント主体による継続的な取組や、チカホやアカプラ、創成川公園狸二条広場、道路空間などの公共空間の積極的な活用等により、高い市民満足度を維持している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	各地区及び都心全体において、官民連携によるまちづくりを推進するため、まちづくり人材の育成・確保及び資金確保の手法について引き続き検討する。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	各まちづくり組織の取組について、各々の特性や状況に合わせた支援を行い、都心各地区でのエリアマネジメント活動をより一層推進することができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 各地区の熟度に応じた支援を継続するとともに、居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり推進に向けた基礎調査を行っていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 地区・街区ごとのエリアマネジメントの推進に係る支援を行うとともに、居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり推進に向けた基礎調査を行っていく。		見直し効果額	0